

# 高山の文化を高めた人々

80

## 戦後飛騨高山に現代彫刻を広めた人 喜代志松治

東 勝廣



喜代志松治氏

喜代志松治は、昭和四年高山市片原町に生まれ、父は印籠作りの職人でした。  
本人は伝統的な一位一刀彫や印籠職人を嫌い、自由な表現の出来る抽象彫刻作家に向かって行きました。

二十七歳の時、二科展の彫刻展に初出品し入選しました。その後毎年同展に出品し一九六六年に「二科展特選」、同七十年二科会友となりその後岐阜県彫刻部審査員となり色々活躍しました。

高山市展等も創立当初より活躍しています。作品は大きく広い壁面彫刻などが多く公

共建築などに多く見られます。  
公募作品には立体的な作品が色々な形で表現されています。

### 「主な作品」

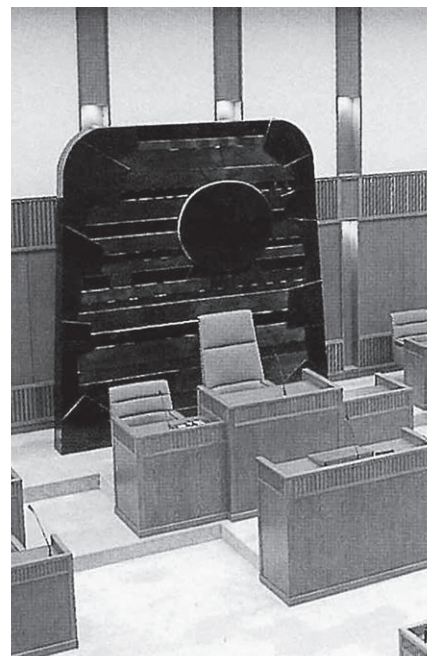
- |    |                 |    |               |
|----|-----------------|----|---------------|
| 陶壁 | 金沢第二合同庁舎        | 壁彫 | 清見村ウッドフォーラム   |
| 陶壁 | 虹と太陽 名古屋国       | 壁彫 | 高山日赤看護学校      |
| 陶壁 | 税局総合庁舎          | 壁彫 | 歴史の流れ 伊那市立図書館 |
| 陶壁 | 蒲郡市立体育館         | 壁彫 | 太陽と歯車 高山市役所議場 |
| 壁彫 | 長野県上田市図書館       | 壁彫 | 所議場           |
| 壁彫 | 中津川中央保健センター     | 壁彫 | 立休彫刻          |
| 壁彫 | 下呂温泉山形屋ロビー      | 壁彫 | モノユメント        |
| 壁彫 | 馬瀬の川波 馬瀬村公民館    | 壁彫 | 郡市立図書館        |
| 壁彫 | 民館              | 壁彫 | 蒲             |
| 壁彫 | 名古屋スバル本社ビル      | 壁彫 | 立休彫刻          |
| 壁彫 | 名古屋サンプラザ        | 壁彫 | モノユメント        |
| 壁彫 | 神の道 建設省高山国道工事務所 | 壁彫 | 立休彫刻          |
| 壁彫 | 愛知県足助町公民館ホワイエ   | 壁彫 | 立休彫刻          |



木彫壁画を制作した愛知県足助町施設で

作品は多くの場所にあるが、喜代志松治氏の作風は「木」の持つ魅力を生かした作家だったと思います。高山の名古屋間を毎週通い、多くの特に女性達の木彫作家を育てました。  
本人は若い頃よりピカソを崇拜して、何時もスケッチブックを持ち歩き、何か思いつくと色鉛筆でピカソに似た絵を画いていました。

私生活の方もユニークで、自分のファッションなんかも日本人離れしたところがあり何か飛騨の人と云うよりチベットのモンゴルの人のような感じで、何かにつけて独自性の強い面白い作家でした。  
古い保守的な飛騨地方に彫刻革命を起こした人と言えます。  
平成二十八年五月二十日逝去。八十七歳。



### 高山市役所議場の木彫 「太陽とはぐるま」

喜代志松治 作  
小島政一 漆工

飛騨の木と春慶塗を用いたレリーフで、天然木をふんだんに使用した高山市議会の象徴的な作品です。